

左腕にタカを乗せる田中さん

私とふるさと

今は大東市に住んで いますが、寝屋川市には 北小学校を卒業するまで いました。高学年のとき はお笑いの世界で活躍 されている海原ともこさ んと同じクラスで仲良く し、今も応援しています。 最寄りの香里園駅前 にあったスーパーにもよ く出かけ、ガード下などで も遊んでいました。

100円玉を握りしめて

お菓子やおもちゃを売っ

ているお店に行くのが楽 しみでした。たこ焼きも6 個で100円でした。

### 伝統的な仕事誇り

(たかじょう) たなかかずひる 田中和博さん(48歳)

# サラリーマンから転身「そんな仕事があるなんて」

います。

さんは、カラスやハトの害鳥を追い リスホーク」を自在に操る田中和博 代は変わり、米国産のタカの一種「ハ

払う、現代の鷹匠、として飛び回って

田中さんの左腕から放たれると、周 みなどを処理する寝屋川市のクリー 斉に退散しました。 辺に集まっていた数羽のカラスが 棒は、2歳になるメスの「咲(さき)」。 ンセンターにいました。鋭い眼光の相 ある日の午後、田中さんは生活ご

どを行う知人の社長に誘われたの は5年前でした。タカの飼育や訓練 存在なのです」。 類。ハトやカラスの天敵で最も怖い やフクロウなどの猛禽(もうきん) 「今もそんな職業があるなんて…」 務店などに勤めていた田中さんは 担う鷹匠の歴史は古く、それまで 「鷹匠にならないか」。害鳥駆除な - 鳥の仲間の頂点に立つのがタカ

「皆さんの悩み解消したい、出番増える、現代の鷹匠、

度活動。「一度だけでは効果がなく、 す。カラス退治は週に1回3時間程 か月から3か月間、定期的に飛ば 害鳥駆除の依頼は年々増えていま してカラスに危険な

たこともあります」

同じ猛禽類のフクロウの出番もあ

タカを飛ばして海苔(のり)の養殖場

した。「珍しいところでは、漁船から

に群がるカモメやウミウを追い払

場、テーマパークでも活動してきま

全国各地にも出動し、駅舎や野球

うになりました」。 ず、タカによる駆除の

依頼が来るよ

と驚きましたが、すぐに「面白そうな

うように被害が減ら ネットを張っても思 か手ごわい相手で、 も深刻です。「なかな るなどハトのフン害 ンダの洗濯物が汚れ 認識させます」。ベラ 場所だということを

> 能を忘れないようにしています」 れると実際に狩りをさせ、野生の本 ありません。それでも「狩猟が解禁さ やハトを威嚇するだけで襲うことは りますが、調教しているためカラス

狩りをした猟場に由来した地名だそ

市内の点野地区は、かつて天皇が鷹

も解消したい」と話しています。

います。多くの皆さんの悩みを少しで さんは「伝統的な仕事を誇りに思って うです。寝屋川市に生まれ育った田中

な資格を持つ先輩から手ほどきを受 仕事や」と興味を持ち、鷹匠の伝統的 けることになりました。

第27

お殿様の狩りにお供した鷹匠。時

## タカとの信頼関係築く |食事中も||緒でした|

間かけてベテランの技を学びました。 め市街地にも連れて出るなど、1年 う)一体』の関係を深めるため、自宅で 徐々に屋外へ。騒音に慣れさせるた 中も左腕に乗せ、1か月間一緒に過ご といいます。「毎日2~3時間、食事 棒として信頼関係を築くのは難しい いそうです。それでもペアを組む相 しました」。警戒心が薄れてきた頃、 「『人馬一体』ならぬ『人鷹(じんよ ハリスホークは環境に順応しやす

きなどでその日の調子をつかめるよ 3羽のハリスホークを飼い、目の動 うになりました」。

### 鷹匠とは

江戸時代には天皇家や大 名に仕えてタカを飼育、 調教し、鷹狩りに同行しま した。訓練の方法などに よって流派があり、伝統 的な技術を今に伝えてい ます。最近は害鳥を追い 払う仕事としても注目さ れ、女性や高校生の鷹匠 も誕生しています。



タカを放つ田中さん

広報ねやがわ 令和2年6月号



18